



(藤田)

3月の下旬には桜、4月の下旬には藤、今年は昨年と比較して鮮やかに咲いた印象を受けます。お散歩をするにもちょうど良く、外気浴にお誘いすることも多くなりました。また、特養の行事に合わせ、季節のレクリエーション、お食事を楽しんで頂いております。

(藤本)

藤本、今年は昨年と比較して鮮やかに咲いた印象を受けます。お散歩をするにもちょうど良く、外気浴にお誘いすることも多くなりました。また、特養の行事に合わせ、季節のレクリエーション、お食事を楽しんで頂いております。

## コロナの現況と対策

4月25日に東京・京都・大阪・兵庫を対象に出された緊急事態宣言は、5月末まで延長されることになります。

## 行事予定

21日 下旬	28日 下旬	7日 6月	8日 5月	5日 4月	8日 4月	31日 3月	17日 3月
中華バイキング 終戦記念日	夏祭り	土用の丑の日	開園記念日	端午の節句	花まつり	みんなの集い(文書回覧)	ひな祭り 防災訓練

## 実施行事

## 俳句コーナー



R.I.(84才)  
陽だまりに寄り添う猫

コロナ知れず

A.T.(74才)  
外出と心躍るも  
車窓かな

A.T.(85才)  
中庭へ健康維持と

七回り

K.N.(78才)  
ペン先でコロナ吹かそう

句仲間よ

昨年に引き続き今年も3月中に桜は満開となりましたが、生憎のコロナ禍でゆつたり花見とは参りませんでし  
た。また施設の行事も控え目となり少々残念に思えるこの頃ですが、いつ  
か晴れ渡る空の下、皆で笑い合  
ふ日々が戻つて来ることを信じて、共に明るく過ごして参りましょう。

(前施設長 阿部ミサ子)

## 施設長退任にあたって

昭和39年米軍の奉仕により小高い山を崩し共楽荘の初声分園として誕生したのが美山ホームの始まりです。私も主人(輝雄)と2歳8ヶ月の娘と3人で現在の地に移ってきました。周辺は田んぼで道もない状態でしたので分園の建築に当つたは地域の方々に大変お世話になつたことを思い出します。

当時は32名のお年寄りとの生活で職員も義妹が調理を担当、看護婦、寮母と3人で、のどかで家庭的な生活が始まり、その時から私もお手伝いするようになりました。

昭和45年になり、養護老人ホームが設立された時、前絢子会長が共楽荘から分園にくる車の中で周囲にはきれいな山が多い事に気づき、新しくできる施設を美山ホームと名付けたのでした。又昭和61年、分園の跡に三浦市で初めての特別養護老人ホームが新設され、養護・特養併設の施設として職員も増員され大家族に生まれ変わりました。前々施設長(阿部好知)と共にひとつづ事業を積み重ねながらいかに多くの御利用者様や職員の皆様とふれあい出会ったことでしょう。時代は昭和から平成へと移り平成17年にはユニット型も併設デイサービス、居宅事業と時代のニーズに合わせ研鑽し、地域に根ざし皆様に喜ばれる施設であるよう努めて参りましたが、光陰矢のごとし、私にとっても美山ホームは半世紀以上にわたり携わってきた思い入れの深い職場でした。

## 編集後記

一つの仕事を長く続けられるという事は第一に健康、第二に自分の信念、第三に家族や周囲の方々の協力、そして第四には恐らく誇りの持てる職場であることが大切であると思います。今、ここに全てのことに感謝して自分の健康に気を配りつつ立場を変えながらもお役に立ち続けて参りたいと存じますので今後ともよろしくお願ひいたします。

(前施設長 阿部ミサ子)



モバイルサイトに  
アクセス!

